

対象校の衛生設備の様子(南東県)



教室から離れたところに設置されているうえ、階段の足踏み場が狭く、子どもたちが安心して利用することができない。男女別に個室も分かれていない。



写真左トイレの中の様子。汚物があふれかけ、清潔な状態ではない。



老朽化しており、悪臭が漂う。手洗い場はなし。



トイレ個室のドアが壊れているほか、生徒数に対する個室数が不足。

対象校の給水設備の様子(南東県)



給水塔があるが、ポンプが壊れ機能していないため、雨水の貯水タンクからバケツで水をくみ上げている。



雨水の貯水タンク。蛇口が壊れ、機能していないほか、大きさも十分ではない。

その他の写真



水衛生事業関係機関との打ち合わせ。対象地域で建設する設備について協議を重ねる。日本人コンサルタントが同行。



学校内にちらばるごみ。衛生トレーニングを通じて、習慣を変える必要がある。



ファシリテーターによる対象校校長および教師への聞き取り調査。衛生教育の有無や頻度、学校における給水設備やトイレに関する情報を収集。



ファシリテーターによる対象校生徒への聞き取り調査。下痢やコレラなど水に起因する病気に関する知識や手洗いの実施について質問。